

未来が想像できるまちへ

石橋町長が掲げる
18のまちづくり政策



▶ 未来へ進む“まちづくり政策艇”の現在地 **進捗率75%**

達成・一部達成 **1** 順調に進行中 **16** 準備・調整中 **1** 未着手 **0**

6つの個別方針

18のまちづくり政策

レーン1

日々の暮らしに優しいまち

誰ひとり取り残さない公共交通	★★★★☆
公共施設・公園などの老朽化対応	★★★★☆
道路修繕・草刈りなど早期対応	★★★★☆

レーン2

安心して産み育てられるまち

幼稚園・保育園・こども園環境の安全安心を確保	★★★★☆
おむつ回収事業などの子育て支援	★★★★☆
小中学校のトイレ洋式化100% (体育館のエアコン整備)	★★★★☆

レーン3

地元の力で活性化するまち

地産地消・地元農業者への支援強化	★★★★☆
地元商工業者を積極活用・支援	★★★★☆
新規就農・起業しやすい環境づくり	★★★★☆

レーン4

笑顔がひろがるまち

“東郷音頭”で世代をつなぐ	★★★★☆
ボート・スポーツ活動への支援強化	★★★★☆
文化活動を通して交流活発化	★★★★☆

レーン5

地域がもっとつながるまち

日常の地域活動を積極支援	★★★★☆
各地区の要望に柔軟に対応	★★★☆☆
地域ごとの防災・防犯対策	★★★★☆

レーン6

未来を想像できるまち

近隣自治体ともっと協働	★★★★☆
ICT活用でもっと便利に	★★★★☆
未来を見据えた基盤整備	★★★★☆

※キャッチ・ローとは
ボート競技レガッタにおいて、キャッチはオールを水に入れる動作、ローは漕ぎ進めることを表します。まちづくり政策の確かな前進を表現しています。

石橋直季が町長に就任してから約2年。町民の皆さまに「東郷町に住んでいてよかった」と思っていたら、「6つの視点」を柱にまちづくりを推進しています。

現時点の主な取組の進捗をお知らせします。詳しくは、町ホームページをご確認ください。



進捗

★★★★☆ 達成・一部達成 ★★☆☆☆ 準備・調整中
★★★☆☆ 順調に進行中 ★☆☆☆☆ 未着手

主な取組

- 町内全地区で公共交通に関する住民懇談会を開催
- 地域の輸送資源活用事業 (三好自動車学校スクールバス) の実証実験
- 民間ノウハウを活用した公共施設管理手法の導入検討
- 草刈り箇所・対象エリアの拡大、防草対策の推進

- (仮称) 東郷こども園の開園に向けた準備
- 公立保育園における使用済みおむつ回収・処理事業の開始
- 産後ケア事業を始めとする子育て支援の拡充
- 小中学校のトイレ洋式化、体育館のエアコン設置

- オーガニックマルシェや軽トラ市の開催支援
- 企業訪問を通じた地元事業者の声の把握
- 中小企業成長支援補助制度の創設

- 東郷音頭の普及啓発
- 中学校部活動の地域展開
- 町総合体育館アリーナの改修工事
- 町民会館ホール改修の基本設計

- 重層的支援体制整備による相談・支援体制の構築
- 地域での介護予防教室の充実 (TOGOまちかど運動教室など)
- 自治会への補助金の在り方検討など、地域活動への持続可能な支援の仕組みづくりの検討
- 避難所運営システムの導入など防災DXの推進

- 尾三地区自治体間連携推進会議による連携
- 町民サービス向上のためのフロントヤード改革の推進
- 地区計画に基づく生活道路整備の推進

町長メッセージ



私が何よりも大切にしているのは、町民の皆さまの声をもとに、**いつまでも住み続けたいまち**を実現していくことです。日々の暮らしの中にある課題を一つ一つ丁寧に解決・改善していくことで、今お住まいの皆さまがこのまちに愛着を持ち、そして、子や孫の世代もこの地に暮らしている、そんな**未来が想像できるまち**をつくっていきたいと考えています。



町長就任から約2年、**町民みんなでまちづくり**を基本方針として、町長と語り合・住民懇談会での意見交換など、多くの町民の皆さまの声をお聴きして施策にしてきました。まちづくりはいつも、町民の皆さまの声から始まります。これからも、**みんなが安心できる役場づくり**を追求し、「私の声はちゃんと届いている」



「自分たちの声でまちがよくなっていく」そう実感していただけるまちづくりを進めていきます。

東郷創立120周年の記念すべき今年、本町の最大の魅力である**人のあたたかさ**が育まれ、広がっていく「とうごう歴史YEAR」にしていきたいと思います。

